

学校給食の内容と 給食費の改定の 検討について

令和5年11月 東大和市学校給食センター

検討をする理由

東大和市学校給食センターでは、栄養摂取基準に基づき、安心しておいしく食べられる学校給食の提供に努めています。そのための食材料は、保護者の皆さんからいただく給食費で購入しています。

しかし、食材料の価格高騰により、給食費だけではこれまでのような学校給食の提供が難しい状況となっており、令和4年度と5年度に、国の交付金を活用して、市から学校給食会計に「学校給食食材料費高騰対応助成金」を交付することで、学校給食の質の維持に取り組んできました。

ですが、令和6年度については現状、国の交付金が見込めないことから、このままではこれまでのような学校給食の提供が難しい状況です。

こうした状況を踏まえ、学校給食の内容と給食費の改定について検討しています。

1 東大和市の給食費の現状

東大和市の給食費は、一食単価で比較した場合、小学校低学年は多摩地域の26市の中で26番目と最も低い金額となっています。また、小学校中学年と高学年は25番目、中学生は24番目となっています。

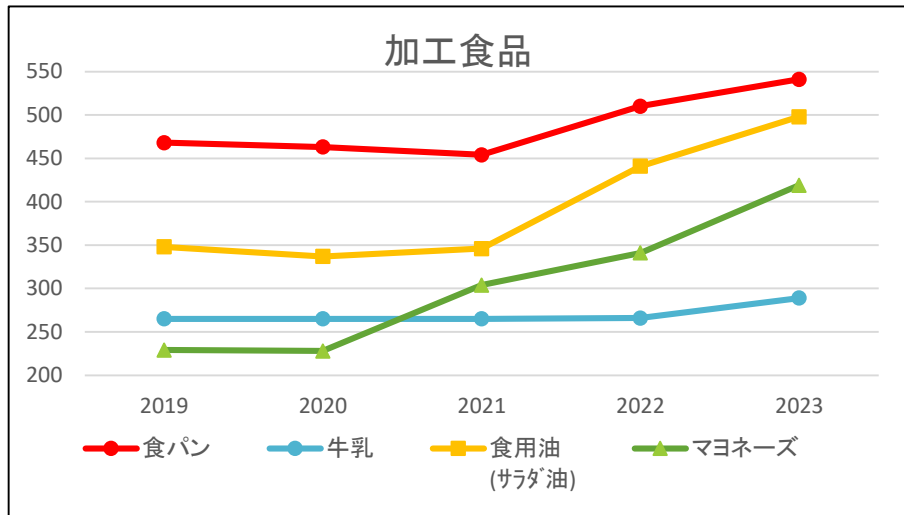
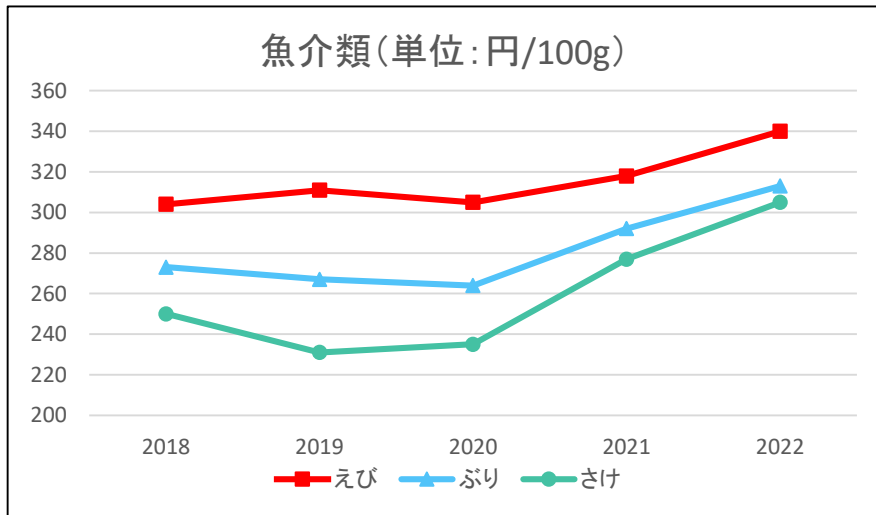
このような状況の中で、学校給食センターでは、栄養士や調理員がさまざまな工夫をして、学校給食を提供しています。

	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学校
現行の給食費	210円	226円	245円	272円
多摩26市の中で...	26番目	25番目	25番目	24番目

2 食品価格の高騰

近年の新型コロナウイルス感染症などの影響により、食品の価格が高騰しています。

農林水産省「食品価格動向調査」より



献立の価格比較の例

下の献立の例では、令和5年4月時点での1食あたりの食材料費は令和3年10月に比べると47.17円上昇していることになります。

横割り丸パン ポトフ ホキのフライ（ソース）
さつま芋サラダ（ノンエッグマヨネーズ） 牛乳



R3.10月

256.29円/食



+47.17円

R5.4月

303.46円/食

3 食材料費の上昇への対応

東大和市ではこれまで、食材料費が年々上昇していくことに対して、次のような工夫をして対応してきました。

- ① 食材の選定において、東大和市の物資選定基準を満たしている安価な品を主に選定する。
- ② 旬の果物の提供回数を調整する。
- ③ 価格の安い鶏むね肉やひき肉の使用回数を増やすことで、たんぱく源を確保する。

4 食材料費の上昇についての課題

一方で、食材料費の上昇により、次のような課題もありました。

- ① 使用できる食材の種類が少なく、見た目の彩りに欠ける。
- ② 特徴的な食材を使用する行事食、郷土料理、世界の料理が提供が難しい。
- ③ 豚肉や果物、緑黄色野菜の提供回数が減少し、ビタミンの摂取量の確保が難しい。

5 市からの助成金の交付

前述のように、東大和市学校給食センターでは、給食費が多摩地域で最も低額な部類であるという状況の中、栄養士が工夫して学校給食の提供に努めてきました。

ですが、昨今の急激な食材料費の高騰により、栄養士の工夫だけでは対応が困難であることから、令和4年度と5年度に、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、市から学校給食会計に対し、「学校給食食材料費高騰対応助成金」を交付することで、食材料費の高騰に対応しています。

助成金の交付額	
令和4年度	22,515,000円
令和5年度	48,788,000円

6 一人あたりの助成金の状況

学校給食食材料費高騰対応助成金を交付した後の、令和5年度の実質的な食材料費の1食あたりの金額と月額は、次のようになります。

		1食あたりの金額			月 額		
		給食費	助成金	実質的な額	給食費	助成金	実質的な額
小学生	1年生	210円	40円	250円	3,560円	670円	4,230円
	2年生				3,670円	700円	4,370円
	中学年	226円	43円	269円	3,950円	750円	4,700円
	高学年	245円	46円	291円	4,280円	800円	5,080円
中学生		272円	51円	323円	4,580円	860円	5,440円

- ・給食費は、保護者の皆さんにご負担いただいている金額です。
- ・助成金は、一人あたりの助成金額を示したもので、食材料費の高騰分に相当するものです。
- ・実質的な額は、給食費と助成金を合計したもので、食材料の調達に必要な実質的な金額を示すものです。

7 助成金の交付の効果

助成金の交付により、次のような給食の提供ができています。

- ① 選択できる食材の種類が広がり、彩りの良い食材を使用した、児童・生徒の味覚の発達や食への興味・関心につながるような献立の提供
- ② 伝統的な食文化についての理解を深めることができるような、行事食、郷土料理や世界の料理などを取り入れた献立の提供
- ③ 世界の料理の提供

8 助成金がないと...

助成金がない場合の献立の例①

豚丼（ごはん、豚肉のねぎ塩炒め）
海藻サラダ（たまねぎドレッシング）
~~白桃缶・さくらんぼゼリー~~ 牛乳

白桃缶・さくらんぼゼリーが提供できなくなります



651kcal



558kcal

助成金がない場合の献立の例②

わかめごはん お花見汁 ~~豚肉~~ 鶏肉の胡麻焼き
小松菜サラダ（香味塩ドレッシング） ~~ミニ鯛焼き~~ 牛乳



豚肉ではなく鶏肉での提供になります

ミニ鯛焼きが提供できなくなります

桜ちらしかまぼこ(お花見汁の具材)が提供できなくなります

632kcal



521kcal

9 検討の状況

食材料費が高騰している状況の中で、学校給食の適切な内容についての検討とそれを提供するための給食費の見直しが必要との観点から、東大和市教育委員会から東大和市学校給食センター運営委員会に学校給食について諮問があり、次のように検討が進められています。

令和5年 9月27日(水) 第1回学校給食センター運営委員会
→・教育委員会から運営委員会への諮問
・専門部会の設置の決定

10月24日(火) 第1回専門部会

11月21日(火) 第2回専門部会

12月 8日(金) 第3回専門部会(予定)

12月19日(火) 第2回学校給食センター運営委員会(予定)
→・運営委員会から教育委員会への答申

12月22日(金) 令和5年第12回教育委員会定例会(予定)
→・答申についての報告

令和6年 1月 令和6年第1回教育委員会定例会(予定)
→・給食費の改定等について決定

10 検討内容の方向性

専門部会ではさまざまなご意見が出ていますが、第2回専門部会が開催された段階での状況を次のとおりお知らせします。

なお、現在検討している段階のものであり、正式に決定したものではありませんので、お間違いのないようにお願いします。

学校給食の内容については、現在の水準を確保する方向で検討しています。

このため給食費に関しては、現行の額に、助成金相当額に近い額を加えた額に改定する方向で検討しています。

		1食あたりの金額			月 額		
		現行の給食費	改定額	改定後の給食費(案)	現行の給食費	改定額	改定後の給食費(案)
小学生	1年生	210円	40円	250円	3,560円	670円	4,230円
	2年生				3,670円	700円	4,370円
	中学年	226円	44円	270円	3,950円	770円	4,720円
	高学年	245円	45円	290円	4,280円	790円	5,070円
中学生		272円	58円	330円	4,580円	970円	5,550円

今後も検討状況について随時お知らせします。

ご意見やご要望、お問い合わせなどがありましたら、学校給食センターへお寄せください。

検討内容については、東大和市公式ホームページの「東大和市学校給食センター運営委員会」のページにも掲載していますので、併せてご覧ください。

(<https://www.city.higashiyamato.lg.jp/shisei/shingikai/1005237/1005239.html>)

【ご意見・ご要望・お問い合わせ先】

東大和市学校給食センター

〒207-0022 東大和市桜が丘2-142-41

電話 042-564-1282 FAX 042-564-2228

Mail: kyushoku@city.higashiyamato.lg.jp